

臨床検査専門科目	形態検査学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	4年次
臨床検査学科	選択					
科目名	形態検査学特論					
担当教員	◎戸田好信 堀江修					
目的	(概要) 病理組織検査、細胞診、血液学的検査等の形態検査について重要なポイントを総括的に学習し、互いに関連する領域とその内容を学ぶ。また、これにより臨床現場での臨床検査に対する応用力を身につけるとともに国家試験にも対応する。					
目標	病理組織検査学について光学顕微鏡・電子顕微鏡標本作製法、種々の染色法、染色態度が理解・説明できる。 細胞診学について細胞標本作製法、種々の染色法、スクリーニング法が理解・説明できる。 病理学総論・各論について病態、組織学的特徴が理解・説明できる。 血液検査学について 基礎知識、各種検査法、血液疾患の概要と結果の評価が理解・説明できる。					
他科目との関連	病理組織検査学、病理組織検査学実習、病理学（Ⅰ、Ⅱ）					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	期末試験の成績				1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	配付資料					
参考資料						
備考 (受講上注意、 事前学習等)						